



QR コードシールを目印にして、一人歩きの認知症高齢者を見守り、助ける



利用イメージ



一人で困っている様子の高齢者を見かけられた方は、驚かせない様に優しく正面から声がけてみましょう。その方の持ち物や着衣に QR コードシール(黄色)を見つけたときは、自分のスマホで QR コードを読み取ってみてください。その方の ID 番号*とコールセンターの連絡先が表示されますので、コールセンターまでご連絡をお願いします。(※) 名前などの個人情報は表示されません。



QR コードシール*は、ご本人が日ごろから身につけている杖や帽子、衣類、靴などに貼り付けます。どこに貼るとよいか、ぜひご本人とも相談してください。

(※) 年間利用料 1,100 円で、シール 36 枚が発行されます。

シールには加美警察署の電話番号も記載されています。QR コードが読み取れない場合、急を要する場合は、警察へ連絡し保護を求めてください。

一人歩きしている認知症高齢者と「場所の見当識障害」

認知症の症状のひとつに見当識障害があります。時間・場所・人の見当識に障害が生じると、日にちや季節が認識できなくなる、今いる場所がわからなくなる、友人や家族の顔がわからなくなるといったことが起こります。「場所の見当識障害」により、なじみのある場所でも道に迷ってしまうのです。



お問い合わせ

加美町地域包括支援センター 電話 0229-63-3600

発行 加美町認知症支援ネットワーク会議

